

本会記事

2022 年度秋季大会報告

2022 年度秋季大会は、11 月 15 日（火）～17 日（木）の 3 日間、同志社大学寒梅館において行われました。コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面開催が危ぶまれる時もありましたが、参加者皆様のご協力により、何とか無事 3 年ぶりに現地で開催することができました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

今回の講演発表件数は、受賞記念講演 4 件、特別講演 3 件、招待講演 16 件、一般講演 136 件の合計 159 件、3 日間の参加者数は約 400 名と多くの方にご参加頂きました。未だコロナ禍の影響がある中、どのくらいの方にご参加頂けるのか不安もありましたが、多くの方にご参加頂き、たいへん嬉しく思っています。

会場の寒梅館は、京都御所に近く、地下鉄今出川駅から徒歩 3 分程とアクセスもよく、初めて訪れる方にも分かりやすい場所であったと思います。同志社大学といえば赤レンガ建築が有名ですが、寒梅館も同様に赤レンガが用いられた建物です。建物内には学生共有スペースや、一般の方も利用できるカフェやレストランがあり、お昼時には学生以外の方の姿も見受けられました。

今回の講演大会では、1 つの企画セッション、5 つの講演特集と一般講演の発表がありました。オンライン開催が続いたなか、現地での発表が今大会初めての方もおられたかと思います。第 I 会場のハーディホールは、映画上映やコンサートにも利用される広いホールで、発表者の方は、舞台から客席の広さを見て、殊更緊張されたのではないのでしょうか。第 I 会場で 2 日間行った講演特集「粉末積層 3D 造形に関わる材料および技術の最先端」は参加人数が最も多く、最高 100 人超の聴講がありました。第 II 会場のクローバーホールでは、コロナ禍により席数が減らされており、席が足りず立見の講演もあり、ご迷惑をおかけしました。特に大会 2 日目の企画セッション「負熱膨張粉体を用いた熱膨張制御」で、廊下にまで人が溢れている場面が見受けられました。



大会初日には京都ブライトンホテルにて、久しぶりに懇親会を開催しました。実行委員会で懇親会の開催可否について何度か検討をし、大会同様対面で開催することにしました。コロナ禍での懇親会ということもあり、参加者数が少ないのではないかと懸念していましたが、予想を上回る約 90 名の方にご参加頂きました。懇親会は加藤将樹実行委員長の開会の辞に始まり、園田修三会長にご挨拶を頂きました。続いて乾杯のご発声を元会長三浦秀士先生に頂き、歓談がスタートしました。今回は着席形式としたため、ゆったりと食事と会話を楽しんで頂けたかと思います。着席の懇親会は会場全体の雰囲気を見渡すことができ、いつもの立食形式の懇親会とは異なる良さがありました。歓談途中には、来賓の日本粉末冶金工業会伊井浩会長からご挨拶を頂戴し、World PM2024 の成功に向けて機運を高めて頂きました。久しぶりの対面での懇親会は楽しく、瞬く間に 2 時間が過ぎ去りました。



2023 年度春季大会は、6 月 6 日（火）～8 日（木）に早稲田大学国際会議場にて開催予定です。本号に講演募集を掲載していますが、春季大会では 8 つの講演特集を予定しています。現在よりもコロナ禍が落ち着き、皆様にご発表、ご参加を頂けることを心より願っています。

（小川 千賀子）